

厚生労働省 令和元年度障害者総合福祉推進事業

第1期アルコール健康障害対策推進
基本計画における対策の取組状況および
効果検証に関する研究

研究報告書
改訂第2.1版

研究代表者 吉本尚

筑波大学

10. 地域連携好事例集

武田裕子、塚本堅一、
今成知美（特定非営利活動法人アスク）、吉本 尚

地域連携好事例の収集

武田裕子¹⁾、塚本堅一¹⁾、今成知美¹⁾、吉本尚²⁾

1) 特定非営利活動法人アスク、2) 筑波大学医学医療系地域総合診療医学

提言

- ▶ 地域連携に関する好事例への自己推薦は比較的多く、都道府県等で行われている連携会議や国等による地域活動支援の効果が伺えた。
- ▶ 好事例を通して、組織的に運営継続する工夫や連携拡大のための工夫などを共有することで、全国的な取り組みとなることを期待したい。

目的

地域連携に関する好事例を収集し、全国への周知徹底を行うことで、アルコール健康障害対策における効果的な対策を取ることが可能となる。特に全国に普及させるにふさわしいと思われる事例に対しては、さらに詳細な取材を行い資料化した。

方法

2019年10月26日から2020年1月31日まで、アルコール関連問題に取り組む団体を対象にしたアンケート調査を、Google フォームを用いて実施した。

質問項目は、以下の通りである。

- 1、以下のどのタイプの地域連携ですか？
「都道府県」が招集した連携会議など
「都道府県レベル」の自主的な研究会やネットワークなど
「市区町村」が招集した連携会議など
「市区町村レベル」の自主的な研究会やネットワークなど
「精神保健福祉センター」が事務局になった連携会議など
保健所が事務局になった連携会議など
- 2、実施地域（都道府県 / 市町村名など）
- 3、地域連携の体制（専門医療機関名、保健所・精神保健福祉センター・福祉事務所などの行政機関、社会福祉協議会、民間依存症専門施設、断酒会、AA など）
- 4、地域連携の発足時期（西暦）
- 5、地域連携が発足した経緯（どこが、誰が呼びかけたのか等）
- 6、地域連携の目的
- 7、地域連携をするために開催している会議名
- 8、上記会議の開催頻度

9、活動実績

- 10、連携の成果物（リーフレット、報告書、連携ガイド、論文など）
- 11、連携で工夫していることなど
- 12、地域連携があることによる効果（変化したこと／助かっていることなど）
- 13、問い合わせ先（メールアドレス、ホームページ URL 等）
- 14、記入者（報告者）の氏名と職種／立場
- 15、調査を報告書として公開する場合、個人情報（所属、氏名）の公開について
- 16、その他自由記載（上記で書けなかったことなど記載ください）

アル法ネットのサイトのトップページに告知を置き、アル法ネット賛同団体のメーリングリスト、アルコール連携医療メーリングリスト、アル法ネットとNPO法人ASK（アスク）のFacebookから協力を呼びかけた。

結果

20団体の回答を得た。回答を以下に掲載する。追加して、詳細な調査について以下の8団体に実施した結果を示す。

- ▶ 四日市アルコールと健康を考えるネットワーク（三重県）
- ▶ 東大阪市アルコール関連問題会議（大阪府）
- ▶ 3つの圏域ごとのネットワーク会議と支援拠点（鳥取県）
- ▶ 愛知県衣浦東部保健所の連携モデル 他（愛知県）
- ▶ 東北会病院（宮城県）
- ▶ 渡島保健所・函館保健所（北海道）
- ▶ 岡山市こころの健康センター（岡山県）

▶ 熊本県精神保健福祉センター（熊本県）

考察

同時期に調査した医療連携と比べ、回答を得られた数が多かった。これは、国や都道府県等が実施している対策推進計画に基づく連携会議等の開催や、国等による地域活動支援の効果である可能性がある。

こういった地域活動は、数名ほどの少人数から開始され、徐々に拡大していく傾向にあるが、中心的な人物の異動等で継続が困難になることも多い。今回収集した好事例等を通して、組織的に運営継続する工夫や連携拡大のための工夫などを共有することで、アルコール健康障害対策への地域での取り組みが、さらに全国に広がっていくことを期待したい。

謝辞

お忙しい中、回答にご協力いただきましたすべての方々に感謝いたします。

1、どのタイプの地域連携か？	「市区町村レベル」が自主的な研究会やネットワークなど	2、実施地域	相模原市	3、地域連携の体制	相模原市医療ソーシャルワーカーの会例における定例会開催	4、発足時期(西暦)	2014年	5、地域連携が発足した経緯	アル法が施行されたことにより、市内の医療ソーシャルワーカーが企画開催した	6、地域連携の目的	精神科のなごり医療連携を必要とする。ここからアルコール依存症者への回復支援の状況が、知り、対応できるようにする。	7、地域連携をすすめるための開催している会議名	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 定例会	8、上記会議の開催頻度	会自体は毎月開催だが、「依存症」に関しては年2回	9、活動実績	2014年度 依存症支援の方法的な講義 2015年度 相模原市断酒新生生例会へ参加 2016年度 相模原市断酒新生生会例会 2017年度 1) ホーマスヘルパーやケアマネジャー等を含めた支援者の話(回復も含む) (相模原市保健福祉センター、神奈川医療ソーシャルワーカー協会と共催) 2) 相模原ダルクの活動の講義 2018年度 ひばり家族会との車座集會 2019年度 1) 講義「動機付け面接を知る」 2) AAメンバーと車座集會(予定) (1、2共に北里大学東病院と共催)	10、連携の成果物(リーフレット、報告書、連携ガイド、論文など)	1. 定例会の報告書あり 2. 2019年度に行われた第7回日本医療福祉協会全国大会(かながわ大会)において、シンポジウム「アルコール依存症者のリカバリーを高める回復者の語り～」を企画開催した。	11、連携で工夫していることなど	アルコール依存症が回復する疾患であることが、支援する原動力になるようにしていく。相模原市には多くの自覚アルコール依存症者が存在しているため、アクセスしやすいうようにしていく。支援の支援で、自助グループへ繋いでいく。アルコール関連疾患での入院で、介入をし自助グループなど説明する。	12、地域連携があることによる効果(変化したこと/助かっていることなど)	今まで依存症支援を知らなかったが、少シターや自助グループと連携出来てきている。年に1から2回の開催を継続する事で支援のモチベーションが維持される	16、その他自由記載	家族会みやびとhanaでは「まず家族が笑顔になろう」がテーマです。hanaは家族会員の有志のメンバーが志すための任意団体です。
「市区町村レベル」が自主的な研究会やネットワークなど	京都府南部	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	2017年3月	一断酒会家族会員が独自に開始	医療や行政に最初に来る当事者家族を断酒会に繋ぐこと	一断酒会家族会員が独自に開始	断酒会に繋ぐこと	京都家族のSBIRTS連絡会 hana	月に一度ミーティング	2018年2月より家族のSBIRTSを本格的に実践。専門医療機関診察室、関連行政の窓口と家族会開催カレンダーを配布し、医師や相談員、メンバークラスに電話をもらい、家族と家族会員の間に1、2名のペースで家族会にお迎えしている。	家族会の新聞みやび通信と、家族会のカレンダー、みやちやんカレンダー	同じ立場の家族会員が多くなるだけ多くなるので、家族会員の笑顔で新しい人を暖かく迎える。	家族支援はまだどの機関も確立されておらず、依存症に関しては家族がフットワークが多くなること、孤立が多くなること、家族の繋がりが、そこから本人が医療につなげるケースが出現した。	家族みやびとhanaでは「まず家族が笑顔になろう」がテーマです。hanaは家族会員の有志のメンバーが志すための任意団体です。								
「市区町村レベル」が自主的な研究会やネットワークなど	呉市	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	相模原市医療ソーシャルワーカーの会	2019年12月19日(予定)	呉みどりヶ丘病院医師、看護師、PSW、呉医師センター PSWが保健所に呼びかけ	一断酒会家族会員が独自に開始	断酒会に繋ぐこと	断酒会に繋ぐこと	呉市	年3回程度を予定	事前打ち合わせ3回	家族会の新聞みやび通信と、家族会のカレンダー、みやちやんカレンダー	単調な会議にしないよう、計画や参考資料を事前に検討	現時点では変化はない。保健所に問題提起して2年経過してようやく開催の運びになった。	家族みやびとhanaでは「まず家族が笑顔になろう」がテーマです。hanaは家族会員の有志のメンバーが志すための任意団体です。								

1、タイアップの地域連携か？	「都道府県」が自主的な研究会やネットワークなど	愛知県	「都道府県」が招集した連携会議など
2、実施地域	宮城県（仙台市）	愛知県	
3、地域連携の体制	東北社会病院 宮城県・仙台市行政職事業 高船・支援事業専攻医 所民間依存的専門施設 グループ療養機関等	愛知県アルコール健康障害対策推進委員会 愛知県医師会 病院協会 愛知県看護協会 愛知県市町村保健師協 愛知県社会福祉協議会 愛知県精神保健福祉協会 愛知県立高等学校校長会 愛知県立東海大学 愛知県立東海大学 NTT西日本東海病院 名古屋大学学生相談センター 名古屋学芸大学看護学部 愛知県断酒連 愛知小売酒販組合	
4、発足時期（西暦）	1981年	2018年	
5、地域連携が発足した経緯		愛知県がアルコール健康障害対策関係者に	
6、地域連携の目的	依存症の事例治療、支援のための事例検討を通じて地域ネットワークの構築と対応力の向上	アルコール健康障害対策に関係する民間団体等と抗議を行って、関係者本件におけるアルコール健康障害対策を総合的に推進するため、愛知県アルコール健康障害対策推進委員会を推進する。	
7、地域連携をすすめるために開催している会議名	宮城県アルコール健康障害対策推進委員会	愛知県アルコール健康障害対策推進委員会	
8、上記会議の開催頻度	月1回	年1回	
9、活動実績	約40年間地域で継続開催の実績により、支援者および自治体関係者のネットワークの構築と対応に努めている。	会議での資料をメールで送るのと、参照のこと。	
10、連携の成果物（リーフレット、報告書、連携ガイド、論文など）	35周年記念上映会「映画「わかしMattoのあつた町」 2014年1月18日特別講演 西尾和美「トラウマの心理療法」 2015年10月11日公開講座 斎藤学「生きづらさの読み解き」 2019年11月9日	資料を送るので、参照のこと。	
11、連携で工夫していることなど	事例や当事者から学ぶ姿勢を原則とするケースセッションを心掛けて連携を図っている。	愛知県の推進計画では、推進体制・進捗管理に県地方精神保健福祉協議会に報告されたことについて、素案審議委員会に報告されたことについて、専門家が集まるものではないが、アルコール関連問題については専門家であるから、最終的には愛知県地方精神保健福祉協議会「など」との表裏になり、愛知県地方精神保健福祉協議会とは別に、実際にアルコール内科、精神科、断酒会などを含む愛知アルコール健康障害対策推進会議が継続的に開催されること切な対応に感謝している。	
12、地域連携があることによる効果（変化したことなど）	支援関係者からのケース相談が活発になり、ケースセッションも増えた。	平成30年度では、すべての愛知県の保健所で「アルコール健康障害対策推進委員会」が開催され、アルコール健康障害専門医が選定された。そのほか、メールで送る資料で確認ください。	
16、その他自由記載		愛知県は窓口になっている「アルコール健康障害対策推進委員会」がアルコール健康障害対策推進委員会、協力関係がたく思っている。今後、総合病院、産業保健、医療福祉学生や研修医などへ連携を広げていきたい。	

1、どのタイプの地域連携か？	図書館 テーマ 展示事 業	2、実施 地域	京 都 市	3、地域 連携の 体制	京都市図書館	4、発足 時期 (西暦)	2016年	5、地域連携が発足した 経緯	2010年から自殺予防の防 週間にて自殺予防の防 書館テーマ展示事業を 行っており、実行ここ らから健康増進センター となった。京都市ター ビから京都市図書館に呼 びかけた。	6、地域 連携の 目的	図書館を利 用する市民 が、アルコール 問題への関 心を高め、 アルコール との上手な 付き合い方 を学ぶこと を目的とし ている。	7、地域連携 をすすめる ために 開催してい る 会議名	図書館ター マ展示事業 「お酒を読 もう」	8、 上記会議 の開催 頻度	年1回 アル コー ル コ ー ル 関 連 問 題 啓 発 週 間 を 中 心 に 実 施	9、活動実績	H28年度：14図書館、 H29年度：13図書館、 H30年度：14図書館、(京 R1年度：15図書館、(京 都市内全20図書館)	10、連携の成果物 (リーフレット、報告書、 連携ガイド、論文など)	報告書	11、連携で工夫して いることなど	・図書館にある関連図 書の他に、当セー ナーが作成したリー フレットやパネル、 啓発週間ポスターの 掲示等行っている。 (関連図書が少なく も対応できる) ・大まかな時期は指 定するが、展示期間 は、展示期間に合 わせている。 ・期間中職員が訪問し、 あいさつを兼ねて不 都合なことがないか など状況確認を行っ ている。	12、地域連携がある ことによる効果 (変化したことなど) 助かっていることなど)	図書館はいろいろな世 代が集まる場所であり、 一般市民の様々なアル コール関連問題につい ての意見を聞くことが できる。(アンケート実 施)	16、その他 自由記載	
----------------	------------------------	------------	-------------	-------------------	--------	--------------------	-------	-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	--------------------------------	-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	-------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------	-----	----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	----------------	--